

令和8年度 第1回子ども・子育て会議 会議録

- 日 時 令和8年7月6日（月）10:00～11:00
- 会 場 沼田市役所 防災会議室 401
- 出席委員 相原委員、井上委員（会長）、尾崎委員、喜多村委員、櫛渕委員、佐々木委員、
常木委員、星野委員、本多委員、牧野委員、山崎委員、渡貫委員
（委任状） 萩原委員
- 欠席委員 小渕委員、田辺委員
- オブザーバー 鈴木健康課長、後藤学校教育課長
- 事務局 （こども課）阿部課長、小菅保育係長、伊藤こども相談係長、
大島子育て支援係長
（健康課） 宇敷保健係長
- 傍 聴 なし
- 配付資料 ・事前配付資料 資料1、資料2
・当日配付資料 次第
委員名簿
教育・保育給付認定

進行：こども課長

1 開 会

事務局 新たに委員となった方、また、オブザーバーに変更があったため、事務局から紹介をしたい。（新委員、オブザーバーの紹介）

2 あいさつ

会 長 この会議に向かう途中、車のラジオから父親がこどもを殺害したとの速報が流れてきた。近年の社会情勢、このような事件が増えてくる可能性があるのではないか。

全国的な少子化、沼田市も例外ではない。県内のこどもの人口は1万人を切った。委員の方はもちろん、地域の方とも多くの情報を共有し、こどもがすくすくと育つような環境が作れるとよい。本日の議題が2項目ほどある。皆さまの協力をお願いしたい。

事務局 会議次第3の議事に移らせていただくが、以降の進行については、井上会長をお願いしたい。

3 議事

進行：会長

(1) 第3期沼田市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について

保育係長・子育て支援係長・保健係長・こども相談係長

委員の皆様にお渡ししてある、第3期子ども・子育て支援事業計画書の47ページから62ページの事業の実施状況について、毎年度、委員の皆様へ進捗状況を報告し、点検・評価を行い、施策の改善や強化につなげている。本日は令和7年度の実績について報告をする。

※資料1及び教育・保育給付認定(資料)により説明

会 長 説明の中で何かご質問があればお願いしたい。

委 員 利根町以外の学童クラブはいっぱいであるか。

事務局 受入可能な学童クラブもある。

委 員 (実績報告とは直接関係ないが) 児童虐待防止のオレンジリボンについて。
オレンジリボンを目に留まるようにすることにより、児童虐待に関して留意するきっかけとなる。様々な機関で配布しているので、関係機関に連絡をしてもらえれば幸い。虐待を疑うケースを把握した際は、関係機関につなぐようお願いするとともに、オレンジリボンについても心がけていただきたい。

委 員 病児保育事業の実績と計画の差が大きい、特別な理由があるのか。単に計画値が高すぎるということか。

事務局 利用平均などにより見込を算出しているが、感染症の流行など、年度により利用人数の増減が大きい。利用者が利用したい場合に対応できるよう準備しているものであり、事業の運営についても支障がないものと考えている。

委 員 100人単位で見込と実績が乖離していることは計画上支障があるものではないのか。

事務局 年度により利用人数の増減が激しく、正確な見込を出すことが病児の場合難しい。今後、計画の中間見直し等を含め検討したい。

委 員 現場に支障がないようであれば、技術的なことであるが、今後は、もう少し少なく見積もっておいたほうがよいのかなと感じている。

会 長 そのほかに、何かご意見やご質問があるか。

～意見・質問なし～

(2) 保育提供体制の確保のための実施計画について

子育て支援係長 ※資料2により説明

- ・国が公表した「保育政策の新たな方向性」に基づき市区町村が作成する計画。
- ・保育提供体制の確保のための財政支援の対象となる事業は、実施計画の採択を受けることにより財政支援が行われる。
- ・利用者支援事業（特定型）が対象事業。令和8年度も採択を受けようとするもの。
- ・実施計画、財政支援を必要とする理由を説明。

会 長 説明の中で何かご意見、ご質問があればお願いしたい。

委 員 計画の0歳児は出生数と同じか。

事務局 基準日が定められており、4月1日時点の数値となっている。

委 員 出生数とほぼ同じと考えてよろしいか。

事務局 近い数字にはなる。

事務局 （子ども・子育て支援事業計画を含めた）市の計画での出生数は、県の人口動態の統計をもとに出している。統計は年ごとに数値を出しており、その年の1月から12月に生まれた子どもを出生数としている。統計は毎年10月に公表される数値。7年度の出生数はこれからである。計画は4月1日時点で0歳である数値であるため、出生数とは一致しない。
妊娠届等で毎年少なくなっているという感触はある。

委 員 減少傾向であることはそうだなと思う。10人違うとかなり差があると感じる。今後100人を切る認識でいたほうがよいのか。または、捉え方の違いにより実際は100人を超えるところがあると思っていてよいのか。

事務局 年によって差はあるので見込が難しいところであるが、減っている平均的な数値で見込を算出している。

委員 令和１０年度には１００人を切る可能性があるということで理解した。

会長 そのほかに、何かご意見やご質問があるか。

～意見・質問なし～

４ その他

会長 委員の皆さんから何かご意見、ご質問があればお願いしたい。

委員 里帰り出産を希望したが、沼田市に病院がなく、子どもを産むことが厳しいので、現在住んでいるところで出産するという話を聞いたが、病院数は確保できているのか。

オブザーバー 産科は利根中央病院のみ。

委員 沼田では選べないのかなと思った。
今後増える可能性はないのか。この出生数だと…。

委員 子どもの数が少ないと言うが、産める環境がないと。
地元で出産できる体制を整えていただけたら。

委員 病児保育事業の利用の方法について教えてほしい。

事務局 体調不良児については、保育中のお子さんが急に体調が悪くなったときに保育園の中の専用スペースで看護師等により保護者が迎えに来るまでの間看護するものである。

委員 その間、母親は仕事をすることができるのか。仕事に行ってもよいのか。

事務局 保育園等が保護者へ連絡をとり、迎えに来るまでの間としている。

会長 そのほかに何かあれば。

～意見・質問なし～

5 閉 会